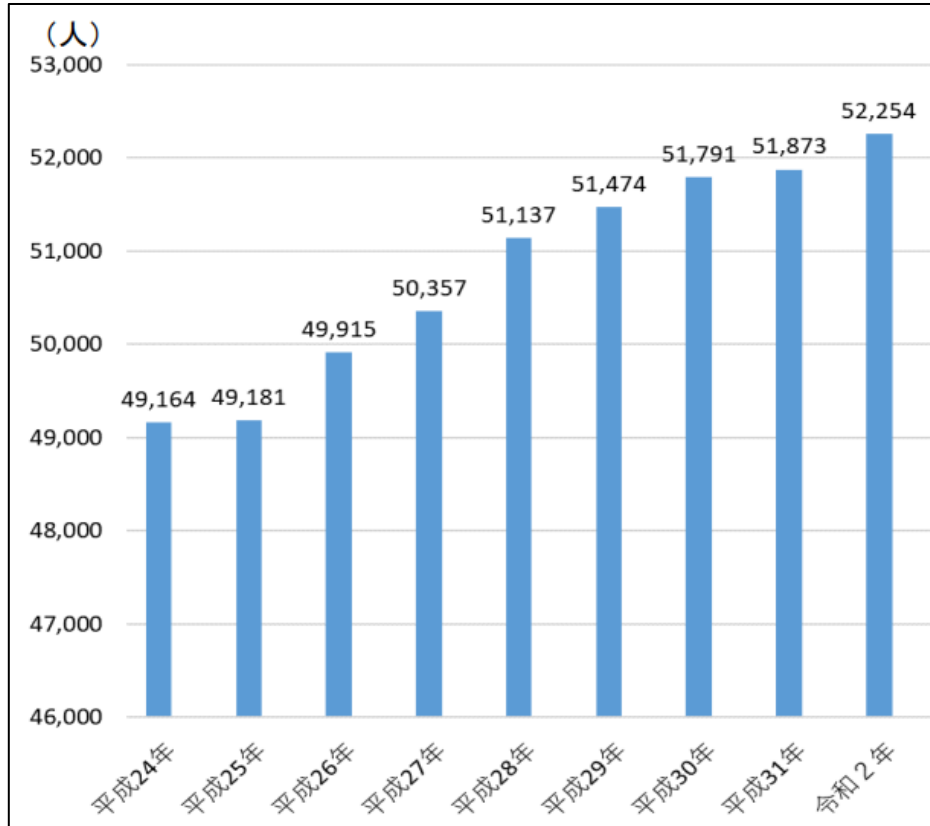

議題1：にぎわいづくりと今後の検討体制について

1. にぎわいに関わる地区現況等（分倍河原駅周辺人口の推移）

■分倍河原駅周辺（駅勢圏）人口の推移



※駅周辺人口：南町1～6丁目、本町1～4丁目、片町1～3丁目、東芝町、日鋼町、美好町1～3丁目、分梅町1～5丁目、矢崎町1～5丁目、宮町1～3丁目、宮西町1～5丁目の人口
(住民基本台帳各年1月1日現在)

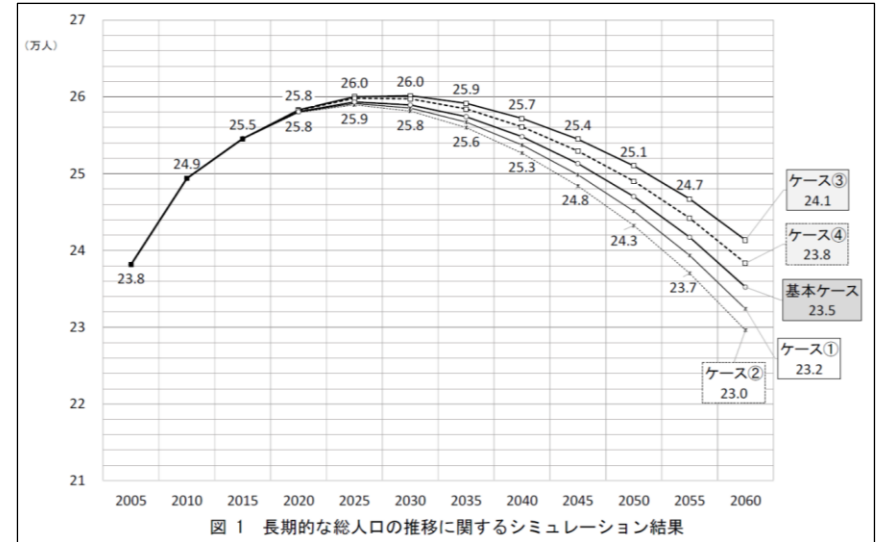


図1 長期的な総人口の推移に関するシミュレーション結果

出典：府中市人口ビジョン まち・ひと・しごと創生総合戦略（H28.3）

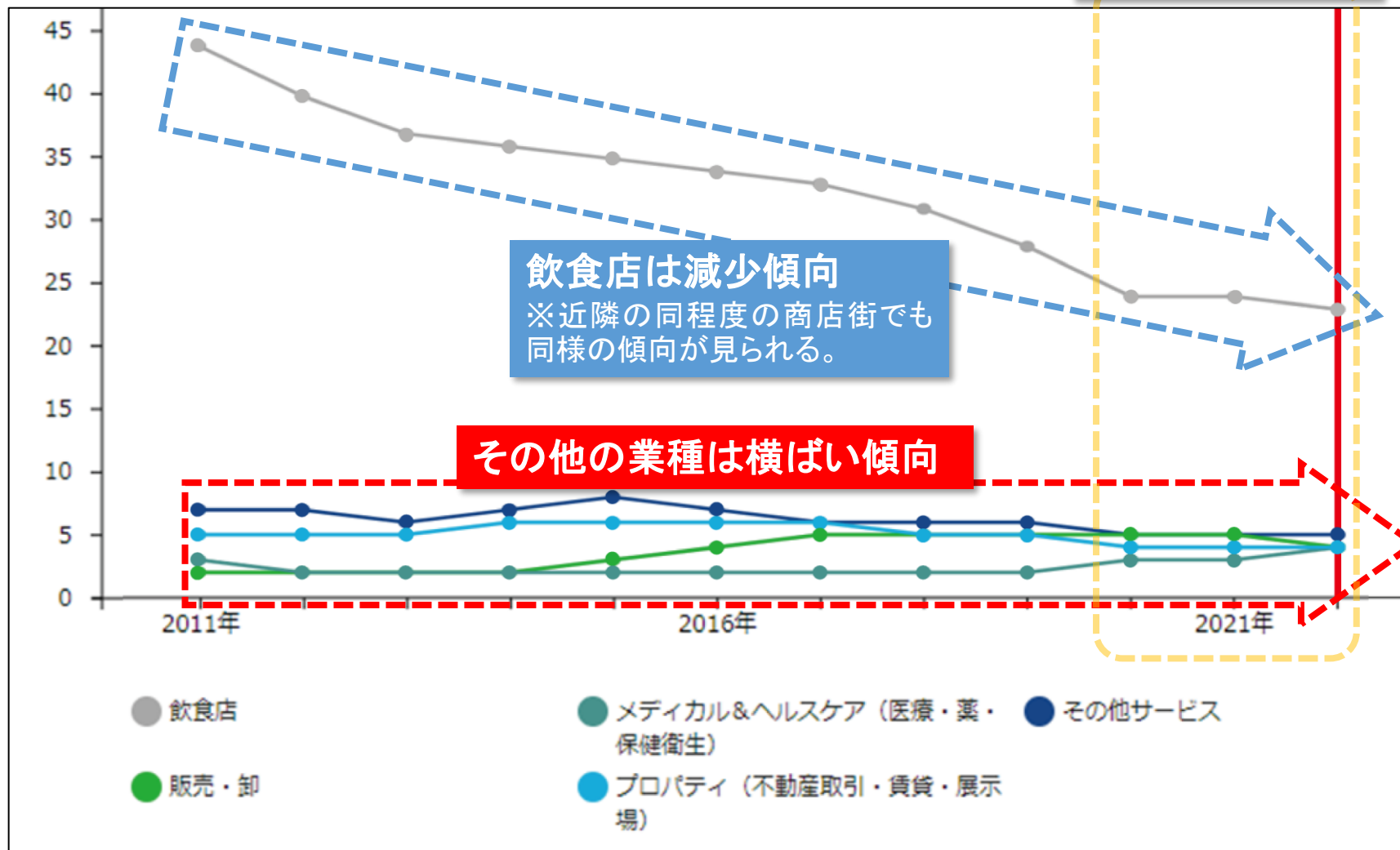
分倍河原駅周辺では人口が増加してきましたが、将来的には分倍河原駅周辺を含む府中市全体でも大幅な人口減少が予測されています。

1. にぎわいに関わる地区現況等（駅前商店街の現況）

■ 駅前商店街の業種別店舗数の推移（大分類）

（社）

コロナ禍で特に
飲食店が**減少**

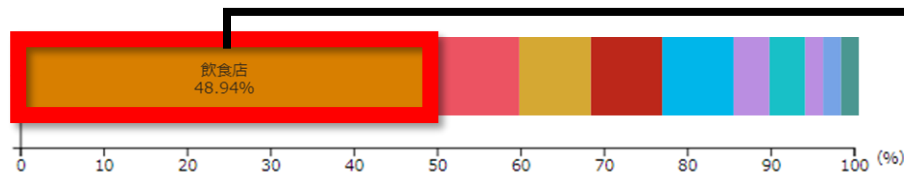


出典：RESASより

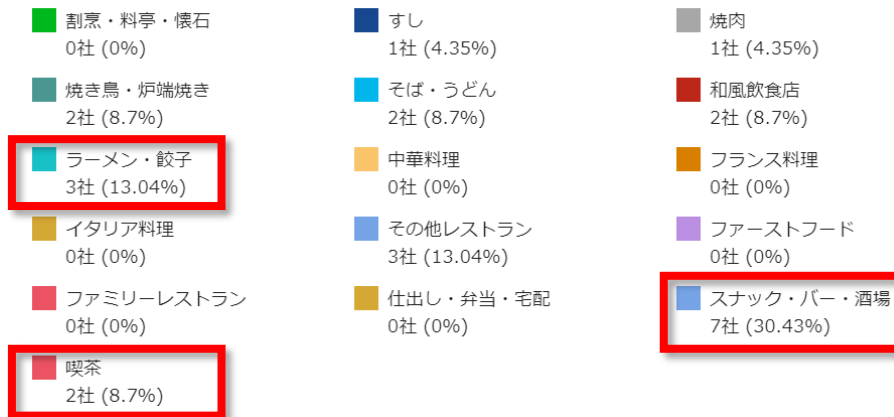
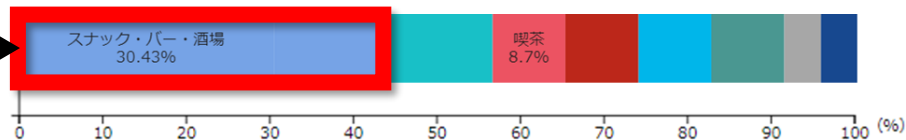
1. にぎわいに関わる地区現況等（駅前商店街の現況）

■2022年時点データの駅前商店街の業種構成（大分類・小分類※飲食店）

■大分類



■小分類※飲食店



半数程度が飲食店となっており、飲食店が非常に多いことがデータからも分倍河原駅前商店街の特徴と読みとれる。

飲食店の中でもスナック・バー・酒場の業種が3割程度を占める。その他、ラーメン・餃子、喫茶等の業種が見られる。

1. にぎわいに関わる地区現況等（まちづくり協議会における意見）

■第20回協議会で出されたご意見（抜粋）

- ・分倍河原駅前商店街を活性化させたいが、**南口（ミナノ等）との関係性・連携等**の問題がある。そのために具体的に必要なことを話し合わなければ、前進しない。
- ・分倍河原駅前商店街は溜まり空間の整備後、現在の7割程度の店舗数となる。**店舗数が減った後どのように活性化していくのか**商店街として話し合う必要がある。
- ・商店会を**世代交代させ、若い方で一つにまとめ、イベント等を行い、活性化しようとしなければ、商店街が衰退**する。協議会でなくても良いが、そのような話し合いができれば良い。

人口減少や店舗数の減少等から、地元からも駅前商店街の今後を心配する意見が出ています。

1. にぎわいに関わる地区現況等（提案書や基本計画での記載）

- まちづくり提案書（H30）

⇒ 「にぎわいの創出や災害時の連携」が提案されています。



（抜粋）

- **商店街と大型店舗の連携**

…南北で連携したイベント実施など

- **駅前空間を活用したイベントの実施**

…地域の魅力向上、南北連携のための、駅前空間を活用したイベントの実施

- **災害時に備えた体制の構築**

…企業との連携、防災スタンプラリーの実施など

1. にぎわいに関わる地区現況等（提案書や基本計画での記載）

・まちづくり基本計画（R2）

まちの将来像 = にぎわいがつながり・ひろがる
歩行者中心の人に優しいコンパクト
なまち



にぎわい軸 = 商店街から業務施設（ミナノ）にかけた、
にぎわいの連続性の確保

施策の位置付け =
— 良好な商店街の形成
— 溜まり空間を活用したにぎわい創出

H30の地元提案や市の計画でも 地区全体及び駅前商店街の
にぎわいの創出を目指しています。

1. にぎわいに関わる地区現況等（まとめ）

- 駅周辺の人口は増加してきましたが、今後は人口減少が見込まれており、店舗数が徐々に減少してきていること等から、今後、地区のにぎわいが失われていく可能性があります。（地元からも心配する意見が出ています。）

上記のように地区のにぎわいが
失われてしまわないように

- 地区のにぎわいを維持・向上させるために、今回の駅周辺のまちづくりをメリットと捉え、地元の方々が主体となり、地区内外での連携や商店街活動の活性化等の検討を進めていく必要があると考えられます。

今後の検討に向けて（次ページ以降）

2. 今後のにぎわいの検討に向けて（市で可能なサポート）

① 調査データの提供

…アンケート調査やオープンハウスによる地元のまちづくりに関する意見 等

例 商店街権利者対象アンケート調査（令和4年度）における商店街の課題・要望
⇒ 震災時の訓練、ゴミや泥酔客の騒音、他商店街や南側地区と連携したイベント 等

② 事例調査

例 他の商店街におけるにぎわい創出の取り組み
⇒ 商店街独自の商品開発、イベントの実施、SNSの活用、商店街マップの作成 等

③ 商店街のイベント・活性化等に対する補助金

例
府中市新元気を出せ商店街等補助金（イルミネーション装飾への補助金）
府中市商店街装飾街路灯等電気料補助金（商店街街路灯電気料への補助） 等

※ その他 適宜協力してまいります。

2. 今後のにぎわいの検討に向けて（検討スケジュール）

にぎわいの検討につきましては、まちづくり基本計画においても、**長期的な施策**として掲げており、にぎわい創出の検討を徐々に具体化する必要があります。

	目指す姿	施策
STEP 1	短期的施策 まちづくりのルール等による駅周辺の良好な市街地環境の形成・保全を行うとともに、既存道路の改良や駅へのアクセス性の改善、自転車駐車場の再整備などの既存機能の拡充・再編を実施します。	【1】良好な商店街の形成
		【4】駅へのアクセス道路の整備
		【5】自転車駐車場の移転・再整備
		【6】市道 4-139 号の改良
		【7】分梅通りの改良
		【8】市道 4-159 号の改良
STEP 2	中期的施策 駅舎の改良や溜まり空間・駅前広場の整備、南北・東西の自由通路の整備など、駅を中心に地区の根幹をなす交通基盤の整備を実施することにより、新たな拠点を構築します。	【9】駅舎の改良
		【10】溜まり空間の整備
		【11】駅南側駅前広場の再整備
		【12】南北自由通路の再整備
		【13】東西自由通路の整備
STEP 3	長期的施策 ステップ1・2による基盤整備を踏まえ、地区全体に広がるまちづくりの推進や駅周辺の土地利用の在り方を検討するとともに、まちづくり活動の推進などによるにぎわいの創出など、良好な市街地環境の保全と拠点機能の更なる強化を図ります。	【2】溜まり空間を活用したにぎわい創出
		【3】基盤整備を踏まえた計画的な土地利用
		【14】良好な景観の保全・活用
		【16】まちづくりのルールづくり

※まちづくり基本計画より

3. 来年度の組織体制に向けて

- ①今後、分倍河原駅周辺における人口の減少が見込まれる。
- ②現在の商店街の問題や整備後のにぎわいを心配する地元の声がある。
- ③にぎわいの検討は、まちづくり提案書や基本計画でも記載されている。
- ④まちづくり協議会でも、商店街の活性化など、今後に向けて話し合う場を求められている。

さらに…

駅前整備については、VR等を用いた具体的な説明を実施している。

つまり…

⇒溜まり空間を活用したにぎわいの創出といった検討が可能になった。

にぎわいの検討は、地域の皆様で自由に考えていくことが可能である。

資料3で今後の検討体制をご提案します。